

高齢者施設における新型コロナウイルス感染症の発生前後の状況等に関するアンケート結果 について（まとめ）

新型コロナウイルス感染症の感染者及び濃厚接触者が発生した施設を対象に、発生前後の施設での感染対策等に関する取り組みや、発生当時や発生後の状況等について、アンケート調査を行い、その結果をまとめました。

質 問	回 答						
1 感染者発生前後の感染対策							
1) 職員の健康管理について。体調不良時の出勤停止の基準を設けていましたか。	<ul style="list-style-type: none"> ・出勤時に検温と体調確認（咳、頭痛、嗅覚・味覚障害など）をしている。 ・37.0℃以上の発熱やその他の症状があれば些細なことでも必ず出勤前に上司に連絡して指示(出勤停止等)を仰ぐように周知している。 						
2) 職員が体調不良で休んだ場合の対応はどのようにされていますか。 ①体調不良者への対応 ②休んだ場合の応援体制	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30px; vertical-align: top;">①</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・熱発の有無に関わらず、まずは受診し、その結果を報告するように指示している。 ・体調不良の場合、受診後、体調が回復するまで、毎日の検温と体調不良の有無の確認を行ってもらっている。 ・周りにPCR陽性者がいる場合には検査を受けるように指示している。 </td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">②</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・希望休みではない職員に連絡し、出勤可能な職員が代わりに従事している。 ・管理者や相談員、他部署からの応援。 </td> </tr> </table>	①	<ul style="list-style-type: none"> ・熱発の有無に関わらず、まずは受診し、その結果を報告するように指示している。 ・体調不良の場合、受診後、体調が回復するまで、毎日の検温と体調不良の有無の確認を行ってもらっている。 ・周りにPCR陽性者がいる場合には検査を受けるように指示している。 	②	<ul style="list-style-type: none"> ・希望休みではない職員に連絡し、出勤可能な職員が代わりに従事している。 ・管理者や相談員、他部署からの応援。 		
①	<ul style="list-style-type: none"> ・熱発の有無に関わらず、まずは受診し、その結果を報告するように指示している。 ・体調不良の場合、受診後、体調が回復するまで、毎日の検温と体調不良の有無の確認を行ってもらっている。 ・周りにPCR陽性者がいる場合には検査を受けるように指示している。 						
②	<ul style="list-style-type: none"> ・希望休みではない職員に連絡し、出勤可能な職員が代わりに従事している。 ・管理者や相談員、他部署からの応援。 						
3) 体調不良を申し出た時に休みやすい職場づくりのために工夫されていることはありますか。	<ul style="list-style-type: none"> ・体調不良を申し出た時は必ず応援要員を確保することと、いつ、誰が体調不良になってもおかしくないことを説明し、休み明けには温かく迎える事の重要性を伝達している。 ・部長や施設長が支援に入ったりすることもあるので、気兼ねは多少あると思うが、虚偽の報告でクラスターが発生した事例を紹介し、体調が悪い時には休んでもらうようにしている。 ・日頃から、コロナにかかることが悪いことではないこと、予防の徹底を図ること、体調不良者はすぐに申し出ることを日々の申し送りや伝え、体調不良等を申し出やすい関係づくりを心掛けている。 ・周囲にはみんなの力を必要としていることと、チームワークの大切さを伝え、シフト等を変更してくれた職員には感謝を伝えている。 						
4) コロナの流行を受けて強化された感染対策はありますか。 ①職員の取組 ②施設の取組 ③面会	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30px; vertical-align: top;">①</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・出勤時の検温と体調確認、手指消毒。 ・マスクやポシエット付きのアルコール等の衛生用品の適宜配布。 ・入浴介助、食事介助、口腔ケア時のフェイスシールドの着用。 ・利用者と話す時はマスクを着用していても、近くから話さない。 ・3密を避けるため、食事時間や更衣室の使用が重ならないよう、入室制限を行ったりしている。 ・休日の行動自粛の協力をお願い。 </td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">②</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者のマスク着用。 ・施設内の清掃・消毒回数の増加。 ・定期的な換気の実施（30分に1回、5分間／午前・午後など）。 ・衛生材料の備蓄。 </td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">③</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・オンライン面会の導入。 ・直接面会の場合、面会者は手洗い・うがいをして、検温を記録。スリッパは1回ごとに消毒。面会時にシールド（アクリル板等）を置いている。 </td> </tr> </table>	①	<ul style="list-style-type: none"> ・出勤時の検温と体調確認、手指消毒。 ・マスクやポシエット付きのアルコール等の衛生用品の適宜配布。 ・入浴介助、食事介助、口腔ケア時のフェイスシールドの着用。 ・利用者と話す時はマスクを着用していても、近くから話さない。 ・3密を避けるため、食事時間や更衣室の使用が重ならないよう、入室制限を行ったりしている。 ・休日の行動自粛の協力をお願い。 	②	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者のマスク着用。 ・施設内の清掃・消毒回数の増加。 ・定期的な換気の実施（30分に1回、5分間／午前・午後など）。 ・衛生材料の備蓄。 	③	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン面会の導入。 ・直接面会の場合、面会者は手洗い・うがいをして、検温を記録。スリッパは1回ごとに消毒。面会時にシールド（アクリル板等）を置いている。
①	<ul style="list-style-type: none"> ・出勤時の検温と体調確認、手指消毒。 ・マスクやポシエット付きのアルコール等の衛生用品の適宜配布。 ・入浴介助、食事介助、口腔ケア時のフェイスシールドの着用。 ・利用者と話す時はマスクを着用していても、近くから話さない。 ・3密を避けるため、食事時間や更衣室の使用が重ならないよう、入室制限を行ったりしている。 ・休日の行動自粛の協力をお願い。 						
②	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者のマスク着用。 ・施設内の清掃・消毒回数の増加。 ・定期的な換気の実施（30分に1回、5分間／午前・午後など）。 ・衛生材料の備蓄。 						
③	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン面会の導入。 ・直接面会の場合、面会者は手洗い・うがいをして、検温を記録。スリッパは1回ごとに消毒。面会時にシールド（アクリル板等）を置いている。 						
5) 感染者発生後にさらに強化された・見直された感染対策はありますか？ ①職員の取組 ②施設の取組	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30px; vertical-align: top;">①</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・職員や入居者の検温の実施と体調管理の強化。 ・サージカルマスク＋フェイスシールドの着用(食事介助時等)。 ・ユニット間の往来の禁止（夜勤も含めて、発生時以降、現在も実施）。 </td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">②</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・利用前の健康状態の確認と検温の実施。熱発時の利用禁止。 ・施設内の換気・消毒について、時間を設けて実施したり、実施回数を増やしたりした。 ・入浴の人数制限。 </td> </tr> </table>	①	<ul style="list-style-type: none"> ・職員や入居者の検温の実施と体調管理の強化。 ・サージカルマスク＋フェイスシールドの着用(食事介助時等)。 ・ユニット間の往来の禁止（夜勤も含めて、発生時以降、現在も実施）。 	②	<ul style="list-style-type: none"> ・利用前の健康状態の確認と検温の実施。熱発時の利用禁止。 ・施設内の換気・消毒について、時間を設けて実施したり、実施回数を増やしたりした。 ・入浴の人数制限。 		
①	<ul style="list-style-type: none"> ・職員や入居者の検温の実施と体調管理の強化。 ・サージカルマスク＋フェイスシールドの着用(食事介助時等)。 ・ユニット間の往来の禁止（夜勤も含めて、発生時以降、現在も実施）。 						
②	<ul style="list-style-type: none"> ・利用前の健康状態の確認と検温の実施。熱発時の利用禁止。 ・施設内の換気・消毒について、時間を設けて実施したり、実施回数を増やしたりした。 ・入浴の人数制限。 						

質 問		回 答
6) 濃厚接触者や感染者が発生する前に、 ①シミュレーションしていたこと、 ②想定と実際で異なったこと、 ③想定範囲内だったこと を教えてください。	①	<ul style="list-style-type: none"> ・法人の対策についての繰り返しの確認。 ・利用中に発熱した場合の隔離と受診方法の確認。 ・感染者又は濃厚接触者の隔離方法と手順の確認、隔離時の必要物品の確保。 ・発生時に備えて人員を多めに確保していた。 ・利用者家族に感染者が発生した場合の対応方針に関する説明を行った。 ・法人内の病院に講師派遣を依頼し、介護士や看護師、理学療法士等を対象にゾーニングや感染症発生時の対応についての研修を行っていた。
	②	<ul style="list-style-type: none"> ・体調不良の判断を誤った（陽性者が初期の鼻詰まりを風邪と自己判断し、味覚・嗅覚障害がでるまで出勤し管理者に報告していなかった）。 ・衛生用品の備蓄量が想定より少なかった。 ・隔離対応のゾーニングが困難であった。 ・利用者の隔離によるストレスや不信感。 ・職員の精神状態の衰弱。 ・法人内で初めて発生したため、法人への経過報告や体調の記録等の様式の作成が必要だった。
	③	<ul style="list-style-type: none"> ・PCR検査の結果が想定できたので、検査結果の報告後速やかに関係各所で認識や対応を一致させることができ、職員の不安が広がらず対応できた。 ・感染者・濃厚接触者が発生した場合の隔離方法と手順。

2 連絡体制

1) 職員が体調不良の場合の連絡体制はどのように組まれていますか。	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡体制表を作成し、連絡順も示し、周知している。 ・本人や家族に気になることがあれば、出勤せず連絡し、指示を仰ぐように徹底している。
2) 陽性が判明した後に連絡を行った関係部局とその順序は。	・法人本部→保健所→市役所→家族→出入り業者・関係事業所
3) 関係部局との連絡で、 ①良かったこと、次にかせられること、 ②困ったこと をお教えてください。	① <ul style="list-style-type: none"> ・関係各所から、多くの連絡・情報が入り、情報把握や意思・対応の統一が困難になるので、対策室や対策チームを設置し窓口を一つにした。意思・対応の統一が図れ、関係者全員に正確な情報発信ができた。 ・利用者家族には事前に施設の感染者発生時の対応方針を伝えていた為、大きなクレームはなかった。 ・LINEなど、職場が離れていても情報共有できる手段を整備していたため、混乱が避けられた。 ・かかりつけ医で蓄膿症と診断を受けたが、施設の医師からPCR検査を行うように指示があり、受検したところ陽性が判明し、早期発見につながった。
	② <ul style="list-style-type: none"> ・管理者が対応に追われていたため、利用者家族に法人の対策チームから連絡したところ、家族が知らない番号のため連絡がとれない人がおり、管理者から再連絡した。
4) 利用者が感染の疑いがある、または感染しているという情報は、いつ、誰から施設に報告がありましたか？	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関(ケアマネ)から施設職員(相談員)に ・職員から施設長に

3 感染者発生時の状況

1) コロナ疑いの報告を受けた後の初期対応について、施設内ではどのように対応・対策をとられましたか？	<ul style="list-style-type: none"> ・（職員）発熱があると報告を受けた時点で、出勤停止の指示をした。 ・（利用者）疑いの症状が出た時点での隔離と適切な防護具での対応。 ・陽性の連絡時に法人へ報告し、当日中に法人の対策チームを設置した。 ・保健所や市の所管課等への報告。 ・感染者以外の利用者や職員の体調の把握。 ・感染者の発症2日前からの行動の把握（把握後、感染者と接触の可能性のある者や同じ部署の職員に対して、施設独自でPCR検査を実施した施設もあった）。 ・施設内や設備の消毒や換気の実施。 ・職員確保のための業務の見直しやシフト調整。 ・環境の見直し(空気清浄機の設置台数等) ・サービス(事業)の休止の判断やその対応。 ・情報共有が必要な外部委託業者への速やかな情報提供。
--	--

質 問	回 答
2) 備蓄していた衛生用品とその量はどのくらいでしたか。発生後の使用状況等、わかる範囲でお教えてください。	<ul style="list-style-type: none"> ・2~3ヵ月分の備蓄量(枚数に関しては施設定員により差あり)。 ・3日分を備蓄していたが、他施設や市等より衛生用品の支援を受けた。 ・普段使用の少ない防護服の備蓄が少ない施設が多かった。 ・入手困難な衛生用品は代用品で対応している施設もあった。(フェイスシールド→ラミネート・クリアファイル、防護服→簡易レインコート等)
3) ①利用者及び利用者家族への連絡はどのようにされましたか。 ②どのような反応がありましたか？	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者には管理者より報告した。始めは理解を示してくれたが、隔離のストレスから徐々に理解をしにくくなった。何度も利用者と話しあうことに努めた。 ・家族には電話で状況報告をした施設がほとんどであった。 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きちんとした情報を伝えることで、特に混乱なく理解してもらえた。 ・発生前に対応方針を説明していたことで好意的に対応してもらえた。
4) 風評被害や利用者家族からの問合せ等で困ったこと、大変だったことがあれば教えてください。	<ul style="list-style-type: none"> ・家族や他事業所から、現状や今後の対応等の問い合わせがあり、法人内の情報共有が必要であった。 ・屋外に仮設検査場を設置したところ、ご近所からクレームがあり、場所を移動した。 ・利用者と同じマンションの住人から、感染リスクはないか、と問合せがあったが、説明すると納得された。
5) 勤務の状況や応援体制などについて教えてください。	<ul style="list-style-type: none"> ・休止したサービスの職員が施設業務に従事したので、他施設等の職員の応援は必要なかった。 ・残業や管理者による現場のフォローなどを行い、職員の休日を確保しながら体制を組んだので、他施設からの応援は受けなかった。 ・従来から日中時間帯において、介護職員や看護職員については勤務を行うフロアを固定しており、発生後も、夜勤時間帯においても同様に勤務を行うフロアを固定し、職員の移動を制限した。
6) 休止したサービスと休止にあたって利用者の受入れ先の調整や休止期間中の損失等の状況についてお教えてください。	<ul style="list-style-type: none"> ・6日~14日間のデイサービスや短期入所等の休止や再開後のキャンセル等による収入の損失があった。 ・休止中の利用者の受入れ先の調整は問題なかった。 ・困難ケースの受け入れ先の調整に苦労した。介護報酬に関して、緊急的な取扱いができないサービスがあり、法人負担が発生した。
7) 感染者発生との連絡をした後の委託会社や派遣職員の反応や、対応が必要であった事項があれば、その内容や解決にかかった期間等詳細をお教えてください。	<ul style="list-style-type: none"> ・業者の出入りを制限するにあたり、状況報告や説明により理解いただいた。 ・訪問歯科と訪問リハには発生当日に連絡し、職員の接触状況の確認と、訪問中断をお願いした。 ・出入り業者には施設の感染状況を伝え、会社のガイドライン等に抵触しないか確認をお願いした。 ・清掃業務の委託会社職員の不安が強かったため、休んでもらった。
8) 感染者以外の利用者の受診や通院等に関して、困ったことはありましたか。	<ul style="list-style-type: none"> ・隔離期間中の受診や通院は先延ばしできる人はしてもらった。できない人は保健所に相談する予定だった。受診延期に関しては家族が不安に思うことが多かった。 ・陰性を確認した濃厚接触者の隔離期間中は、同法人の関連医療機関への相談や往診で対応してもらえた。
9) 施設職員の約1/5が自宅待機中の職員の勤務や応援等の状況についてお教えてください。	<ul style="list-style-type: none"> ・サービスを休止する方向で、利用者の退所調整をしたため、人員不足とはならなかった。 ・濃厚接触者となった職員は自宅待機し、朝晩検温を行い施設に報告してもらった。
10) 感染者回復後の受入れは速やかにできましたか？特別配慮された点があればお教えてください。	<ul style="list-style-type: none"> ・特に問題なく利用再開されている。特別配慮したことはなく、他の方と同じく検温や健康観察を強化している。
11) 委託業者から報告を受けてから、厨房再開までの経過の詳細をお教えてください。	<p>夜に、委託会社から、感染者発生による厨房の使用停止と職員の出勤停止の報告があった。</p> <p>翌日 朝食：パンと牛乳等の簡単な食事を提供。食事形態の指示を施設長と管理栄養士が行い、刻み等の調理は消毒済みの空き部屋で委託会社の別の職員が行った。</p> <p>昼食：委託会社の工場から調理済み食材が運ばれ、ディスプレイ容器を用いて弁当形式での提供を開始した。</p> <p>約1週間後 専門業者が厨房や施設内の消毒（感染者の動線）を行い、翌日から厨房の使用を再開した。</p>